



笛吹市 議会だより

平成25年7月22日発行

2013

Vol.35

GIKAI DAYORI



一宮南地区統合共選所

「もも」の衝突や転がりのない、ベルトコンベアー方式（イタマーズ方式）と透過式光センサー選別機により糖度・着色・形状を瞬時に計測し、自動選別される最新鋭システムを導入しました。



FUEFUKI CITY



笛吹市

議会だより 2013 Vol.35

表紙 1

あんない・議会日誌・会期日程 2

倉嶋市長・行政報告 3

6月定例議会で決まったこと 4 ~ 5

一般質問(11人) 6 ~ 11

 渡辺 清美議員 亀山 和子議員 渡辺 正秀議員
 神澤 敏美議員 大久保俊雄議員 志村 直毅議員
 川村 恵子議員 岩沢 正敏議員 北嶋 恒男議員
 中川 秀哉議員 中村 正彦議員

委員会レポート 12 ~ 13

視察研修・議会傍聴のお知らせ 14

表紙写真募集のお知らせ 15

市民リレートーク / 編集コラム笛吹川 16

あんない CONTENTS



議会日誌 GIKAI diary

3月 March

- 4日~5日 各常任委員委員会(付託事件審査)
- 7日 リニア中央新幹線実験線説明会
- 8日 議会運営委員会、全員協議会
 広報編集委員会、議会改革検討小委員会
- 11日 各常任委員委員会
- 12日 各常任委員委員会
- 13日 市内中学校卒業
- 15日 各常任委員委員会
- 19日 議会改革検討小委員会、議会運営委員会、全員協議会
 第1回定例会本会議(最終日)
- 22日 市内小学校卒業式
- 23日 甲府・峡東ごみ処理組合全員協議会・議会
- 25日 東八代広域行政事務組合議会
- 26日 市リニア水源有効活用協議会
- 27日 石和温泉駅前土地区画整理事業竣工式
- 28日 釈迦堂遺跡博物館議会運営委員会・本会議
 峡東地域広域水道企業団議会
- 29日 東山梨広域行政事務組合議会全員協議会

4月 April

- 1日 市消防団入退団式
- 4日 市内各小中学校入学式
- 9日 議会広報編集委員会
- 10日 日本一桃源郷宣言・笛吹市桃源の郷の日制定記念式典
- 12日 スコレー大学入学式、市国文祭実行委員会
- 14日 第9回桃の里マラソン大会
- 16日 県市議会議長会第249回定期総会
- 21日 川中島合戦絵巻出演川中島合戦戦国絵巻
- 23日 全員協議会、市長村長・市町村議会議長会議

- 25日 関東市議会議長会定期総会
- 26日 市植樹祭、日赤奉仕団定期総会
- 30日 市国際交流協会委員会

5月 May

- 13日 リニア中央新幹線建設県期成同盟会総会
 リニア中央新幹線計画説明会
- 14日 臨時全員協議会
- 21日 全国温泉所在都市議会議長会第42回総会
- 22日 第89回全国市議会議長会定期総会
- 26日 中部横断自動車道建設促進総決起大会
- 27日 県市町村総合事務組合議会臨時会
- 28日 全員協議会、議会改革検討小委員会
- 29日 御坂浄水場起工式
- 30日 暴力追放要請書提出

6月議会・会期日程

- 6月7日(金) 議会運営委員会
 全員協議会
- 6月14日(金) 開会
- 6月19日(水) 20日(木)
 ・一般質問
- 6月21日(金) 26日(水)
 ・各常任委員委員会
 ・付託案件・事件審査
 ・本会議
- 6月28日(金) 全員協議会
 ・各委員会の審査報告
 ・質疑・討論・採決
 ・閉会
- 6月7日(金) 議会運営委員会
- 6月14日(金) 開会
- 6月19日(水) 20日(木)
 ・総括質疑・付託
 ・決算審査報告
 ・提出議案の説明
 ・市長行政報告
 ・会期の決定
 ・会議録署名議員の指名
 ・本会議

倉嶋市長の行政報告



4月10日を笛吹市桃源郷の日に制定 観光客誘致、地域経済活性化に取り組む

市政運営の基本姿勢

国はデフレの原因である需要の不足を、成長戦略、財政政策、金融政策の「三本の矢」による政策により解消し、持続可能な成長のため、積極的に取り組んでいく姿勢を示しています。市民と本市経済にどのような影響を及ぼすか、見守っていききたいと思っています。

市では4月10日に「日本一の桃源郷 笛吹市」を宣言し、この日を「笛吹市桃源郷の日」に制定いたしました。「日本一の桃源郷」をこれまで以上に世界に発信することで、観光客の誘致と地域経済の活性化に取り組んでいきたいと思っています。

おもな事業の状況

1 石和温泉駅
周辺整備事業

国道140号から駅北口までのアクセス道路が完成。南北自由通路・駅舎改築の実施設計も完成し、JR東日本との間で施行協定を締結します。

2 砂原橋架け替え及び
周辺道路整備事業

橋台・橋脚は全てが完成し、今後は、上部架設工事を予定しています。周辺道路整備は詳細設計を行い、地権者のご理解をいただきながら、用地買収を進めていきます。

3 (株)笛吹スマートインター
チェンジ周辺道路整備事業

昨年10月に地元役員と地権者に説明会を開催し、用地測量等を実施しました。中日本高速道路株式会社と用地取得等に関する細目協定を締結し、今秋から用地買収に着手する予定です。

4 観光関係イベント

桃の花まじりのフィナーレを飾る「川中島合戦戦国絵巻」は、成功裏に終了しました。夏の風物詩「石和温泉花火大会」を中心とする「笛吹市夏まつり」は、県内外に宣伝活動を行っています。

5 暴力団発砲事件に伴う取り組み

暴力団抗争による発砲事件が断続的に発生しました。観光面など経済への影響を考えると許しがたい事です。市と警察は互いに協力し合い、警察は警戒体制などの強化を、市は登下校時の見守りや青色パトロール車両による巡回などの取り組みを徹底してきました。

6 環境推進の取り組み

エコアクション21の認証団体として、県下自治体で初の登録を受けました。市民や各事業所のエコ活動の活発な促進を図る取り組みを市民との協働により進めてまいります。

7 子どもすこやか医療費
助成金支給事業

4月から助成対象年齢を、中学3年生までに拡大し実施しています。受給対象者は1,900人増加し、合計で約8,900人となりました。

8 教育施設の整備

石和中学校校舎は電気設備等の移設工事と南館の技術科

室の改修工事を行い、既存の技術科棟を解体後、給食棟の建設に着手。春日居中学校校舎増改築改修事業は、現在、設計を進めており、本年度中の完成を目指しています。

9 国民文化祭

富士の国やまなし国文祭2013のプレイベントとして、NHK生涯学習フェスティバル笛吹市短歌大会と俳句大会を開催し、短歌大会に3,146首、俳句大会には6,929句の応募をいただきました。

10 甲斐国分寺跡等整備
事業補助金不正受給

調査委員会から職員本人の初歩的なミスやチェック体制の不備によるものと報告を受けたところで、再発防止に向けた事務処理マニュアルの作成や、管理監督者の職務権限の自己点検など、徹底した取り組みを指示しました。市民の皆様にお詫びするとともに、再発防止に努めてまいります。

6月定例議会における倉嶋市長の施政方針を要約したものです。

平成25年6月定例議会提出案件一覧表

(前島敏彦議長を除く)
賛成 反対

種別	案件名	笛新会					笛政クラブ				誠和会			公明党		日本共産党		結果					
		北嶋恒男	野澤今朝幸	海野利比古	保坂利定	岩沢正敏	神澤敏美	荻野謙一	神宮司正人	上野稔	前島敏彦	大久保俊雄	志村直毅	小林始	中村正彦	古屋始芳	梶原清		中川秀哉	渡辺清美	川村恵子	渡辺正秀	亀山和子
専決処分 1	・ 税条例の一部改正についての専決処分の承認 ・ 都市計画税条例の一部改正についての専決処分の承認 ・ 国民健康保険税条例の一部改正についての専決処分の承認 ・ 平成24年度一般会計補正予算(第11号)の専決処分の承認 ・ 平成24年度国民健康保険特別会計補正予算(第5号)の専決処分の承認 ・ 平成24年度介護保険特別会計補正予算(第5号)の専決処分の承認 ・ 平成24年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第5号)の専決処分の承認																						承認
条例改正	・ 市長等の給与の臨時特例に関する条例の制定																						可決
	・ 一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例の制定																						可決
	・ 新型インフルエンザ等対策本部条例の制定 ・ 兜造り茅葺古民家「藤原邸」設置及び管理条例の制定 ・ 職員給与条例の一部改正 ・ 障害者等支援認定審査会の委員定数条例の一部改正 ・ ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部改正																						可決
	・ 一般会計補正予算(第1号)																						可決
	・ 国民健康保険特別会計補正予算(第1号) ・ 介護保険特別会計補正予算(第1号) ・ 公共下水道特別会計補正予算(第1号) ・ 水道事業会計補正予算(第1号) ・ 市営春日居地区温泉給湯事業会計補正予算(第1号)																						可決
その他	・ 市道廃止																						可決
	・ 市道認定																						認定
	・ 契約の締結について(本庁舎耐震)																						可決
	・ 契約の締結について(中央線石和温泉駅周辺整備事業に関する施行協定)																						可決
	・ 変更契約の締結について(砂原橋橋梁下部工事[3工区])																						可決
人事	・ 人権擁護委員の候補者の推薦																						承認
請願審査 2	・ 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書																						採択
意見書 3	・ 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書の提出																						可決

〔用語解説〕

- 1 専決処分とは・・・議会の議決が必要な事項を、市長が議会に諮らず自分で決めること。緊急で議会を招集する時間がない時など限られた場合のみ認められる。
- 2 請願とは・・・住民が市政等について直接市議会に要望できる制度。(必ず議員の紹介が必要)
- 3 意見書とは・・・議会としての意見や希望を意見書として内閣総理大臣、国会、関係行政庁に提出することができる。住民代表である議会の総意として尊重される。

人事

人権擁護委員の推薦
に若尾氏を承認

若尾 光明 (64)

御坂町上黒駒

(年齢は議決日となります)

議員表彰

祝・小林始議員が 10年以上表彰を受賞

小林始議員が、全国市議会議長会において、議員在任10年以上表彰を受け、6月14日の本会議で、前島敏彦議長から表彰の伝達を受けました。



30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書

2013年度の政府予算が成立しました。2011年義務標準法が改正され小学校1年生の基礎定数化がはかられたものの、今年度も小学校2年生については加配措置のまま留まっています。義務標準法改正条文の附則には、小学校の2年生から中学校3年生までの学級編制標準を順次改定する検討と法制上を含めた措置を講ずること、措置を講じる際の必要な安定した財源の確保も明記されました。今後、35人以下学級の着実な実行が重要です。

日本は、OECD諸国に比べて、1学級当たりの児童生徒数や教員1人当たりの児童生徒数が多くなっています。一人ひとりの子どもに丁寧な対応を行うためには、ひとクラス

の学級規模を引き下げる必要があります。文部科学省が実施した「今後の学級編制及び教職員定数に関する国民からの意見募集」では、約6割が「小中高校の望ましい学級規模」として、26人〜30人を挙げています。このように、保護者も30人以下学級を望んでいることは明らかであります。新しい学習指導要領が本格的に始まり、授業時数や指導内容が増加しています。また、暴力行為や不登校、いじめ等生徒指導面の課題が深

く化し、障害のある児童生徒や、日本語指導など特別な支援を必要とする子どもが顕著に増えています。このような中で、地方が独自に実施する少人数学級は高く評価されています。

本県でも、「個性を活かし、生きる力をはぐくむ『やまなし』人づくり」を県政教育の基本に据え、はぐくみプランの拡大など学校教育の充実を図る施策を積極的に展開していただいています。

子どもたちが全国どこに住んでも、機会均等に一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請です。しかし、教育予算について、GDPに占める教育費の割合は、OECD加盟国(28カ国)の中で日本は最下位となっています。また、三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の国負担割合は2分の1から3分の1に引き下げられ、自治体財政を圧迫するとともに、非正規雇用者の増大などにみられるように教育条件格差も生じています。

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要です。未来への先行投資として、子どもや若者の学びを切れ目なく支援し、人材育成・創出から雇用・

就業の拡大につなげる必要があります。こうした観点から、政府においては、是非とも、以下の事項を実施するよう要望します。

記

1、少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため30人以下学級とすること。

1、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に還元すること。

1、教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年6月28日

山梨県笛吹市議会

議長 前島敏彦

内閣総理大臣

内閣官房長官

文部科学大臣

財務大臣

総務大臣

提出先

6月
定例議会

市民の声

一般質問

6月定例議会では、11人の議員が一般質問に立ち、市の考えをたどしました。以下は質問と答弁を要約したものです。



一般質問

問 胃がん撲滅にピロリ菌検査を

答 国の動向を見て判断



渡辺清美議員
(公明党)

渡辺清美議員 23年2月、政府はピロリ菌が胃がんの発生原因と認められた、ピロリ菌の除菌への保険適用が、軽い胃もたれや慢性胃炎等にも拡大される。血液検査や呼気検査などに対する無料化の実施を求める。市の考えを伺う。

山下真弥保健福祉部長 本市の胃がん検診は、集団検診ではレントゲン検査、国保人間ドックでは内視鏡とレントゲンの選択制で検査を実施している。ピロリ菌の除菌により胃がんの発生率は減るが、ゼロにはならない。今後も、胃がん検診の受診率向上に努めていきたい。保険制度の拡大を周知するとともに、検査に対する公費助成については国の動向を注視し判断したい。

問 防犯対策を問う

答 ハード、ソフト
両面で強化

渡辺議員 通り魔事件、空き巣、ピッキングなどが多発している。そこで、防犯効果が高い、スーパー防犯灯が注目されている。画像と音声警察に送られるハイテク設備だ。子どもの安全対策には万全を期す必要がある。所見を伺う。

荻原明人総務部長 14年度には、山梨県警が緊急通報装置付き防犯灯を、富士見小学校と石和西小学校周辺に7基設置。市内19小中学校全てにおいて合計76台の監視カメラを設置し、安全確保に取り組んでいる。

今後、防犯カメラや青色パトロールカーの増設などハード面での整備を行うとともに、住民による登下校時の見守りや教育委員会・学校・PTAが連携した活動など、市民一人ひとりの日ごろの取り組みと合わせて、安全安心で住みよい環境づくりを進めていく。

問 都市計画税の廃止を求める

答 適切な時期に判断する



亀山和子議員
(日本共産党)

亀山和子議員 都市計画税は旧石和町だけに課税されていた。合併協議の中、5年経過後は他町村への賦課地域拡大が定められていたが、条例で26年度まで延期されている。厳しい経済情勢が課税延期の理由だったが、現状認識は。

賦課の根拠、課税対象が流動的。条例としてふさわしくないのでは。負担と受益の関係が不明確だ。芦澤栄経営政策部長 東日本大震災の影響を考慮、3年間の課税猶予とした。市民生活は依然として厳しい状況が続いている。課税については、適切な時期に判断したい。都市計画区域の定義は、整備を推進すべき地域を含むとされており、条例制定の案件を欠くわけではない。受益の濃淡は、下水道事業の進捗を見ても確かに存在するが、処理浄

問 みんなの税金、大事に使おう

答 公平性と効率を重視する



渡辺正秀議員
(日本共産党)

渡辺正秀議員 株式会社を代表とする民間事業は、出資者の自己責任で行う。一方、国・市町村は、税金を強制的に集める。民間以上に大切に効果的に、お金は使わなければならない。所見を伺う。

芦澤栄経営政策部長 国や市町村は、教育や福祉・消防など多くの公共サービスを提供し、学校や道路を整備するなど社会を維持し生活を支えている。財源である税金の用途については、公平性を考慮しつつ、効果的効果的であることが必要と考えている。

問 二つの事業、財政検討は

渡辺議員 リニア御坂トンネルから大量の水が湧出している。御坂浄水場建設計画は一時凍結し、湧出水

答 健全化に努める

利用を検討すべきだ。下水道事業に対しては、財政破綻に警鐘を鳴らし、合併処理浄化槽とのすみ分けを提案してきた。22年度には減額の方向性が出たが、25年度は再度、増額された。今後の方針は。

松岡利明公営企業部長 リニア水資源有効活用協議会による、湧水の利活用の検討は結論が出ていない。比較検証は控えている。下水道の普及率は59・4%にとどまっている。19年度末の起債残高は246億円だったが、24年度末には201億円まで減少している。下水道全体計画区域外には、合併浄化槽設置に補助金を交付している。計画区域の見直しは32年度までに検討していく。今年度は、石和中学校改築に伴う下水道接続工事に2億4千万円を予定した。26年度からは財政健全化計画に基づいた通常の金額に戻る。

問 富士山世界遺産登録で市の活性化対策は

答 歩いて楽しめる温泉郷を目指す



神澤敏美議員
(笛新会)

神澤敏美議員 本年6月には、山梨

県と静岡県で推進してきた、富士山の世界文化遺産としての登録が確実視されている。観光客誘致を図る自然と文化を活用した市としての活性化策を検討するため、プロジェクトチームを立ち上げるべきではないか。笛吹市トレッキングガイドを活用し、安全な遊歩道の整備を。

芦川新道峠に駐車場の整備を。

石和温泉駅北口から西山一帯、春日居町駅までの遊歩道、「桃源富士道」の整備を。

風間和仁産業観光部長 市内には9つの山梨百名山があり、10のトレッキングコースを設定している。

22年度から、国の緊急雇用対策を活用し、看板設置、遊歩道の改修を実施して春から秋のシーズン中は、毎月1回以上は点検し、整備・補修

してきた。台風等で人力では補修できないケースは、新たなルートを設定し直し、安全なトレッキングができるように努めている。新道峠からの富士山の眺望を楽しんでいただくため、展望台への案内看板を設置した。登山道の安全確保に努める。

新道峠に向う水ヶ沢林道は、民有林の所有者の了解を得て、急傾斜地に開設した。駐車場等の整備については、了解を得るとともに、土留め側を切土し、法面保護工事をする必要がある。工事が可能か、現地を確認し検討する。

今年もJR東日本とタイアップし、「駅からハイキング」の中で菊の散歩道などのハイキングを企画する予定。石和温泉駅前観光案内所では、スタンプラリーを5コース設定し、観光客に楽しんでもらう。今後は、駅北口の整備に合わせ、春日居町駅までの間、富士山のビューポイントなども含め、観光資源の掘り起こしを行い、点から線、線から面へと拡大し、PRを行うなど、歩いて楽しめる温泉郷を目指す。

問 発砲事件、不安払拭の具体策は

答 官民一体の活動を展開したい



大久保俊雄議員
(笛政クラブ)

大久保俊雄議員 一連の発砲事件に対し講じた具体策は。関係機関への要望は。

市民生活、経済への悪影響の長期化が懸念されるが、市の考えは。市が主導し、住民、PTA、観光団体等が一致団結し行動するべきであるが。

通学路、目抜き通り等への防犯カメラ、防犯灯の設置を。

荻原総務部長 青色パトロールカーの巡回等の警戒体制を強化。笛吹警察署長宛に取り締まり強化の要請書を出し、防犯カメラ設置を検討。

情報提供、青少年への指導、暴力団への利益供与の禁止、公共施設や祭礼からの排除など対策を強化する。笛吹地区暴力追放委員会を中心とし、官民一体の活動を展開していく。有効な設置場所を調査し対処する。

問 地域経済浮揚の具体策は

大久保議員 観光客誘致、農業生産アップに直結する施策は。

アベノミクス効果も現時点では、地方への波及は実感できない。利子補給制度の継続、市独自の求職者補助制度の実施を求める。

農業果樹振興、地域ブランドの確立と情報発信は。

富士山の文化遺産登録、リニア実験線運行等の具体的な取り組みは。

答 市の魅力を最大限引き出す

風間産業観光部長 富士山文化遺産登録プロジェクト委員会を立ち上げる。観光農業の振興、直売所整備等を通じ、誘客数増、農家所得アップを目指す。

関係機関と協議し検討する。JAと連携し、東京・大阪・北海道でトップセールスを展開する。

石和温泉から富士山麓を周遊する企画等、旅行者者と提携を強化し、キャンペーン活動を実施する。

問 行政経営における計画行政のあり方は

答 基本計画で施策の方向を示す



志村直毅議員
(笛政クラブ)

志村直毅議員 自治基本条例等で総合計画を位置づける考えは。後期基本計画と施策評価の連動は。行政経営システムの明示は。施策の優先順位は。関連計画との関係は。

芦澤経営政策部長 まちづくりの指針であり、最上位計画。市民参画により、早期に準備したい。翌年度予算での重点施策を判断し、事業計画にも反映させている。健全で安定した行財政基盤づくりを目指す、評価システムを導入、選択と集中により業務を推進している。環境施策、防災・減災対策に積極的に取り組んでいく。基本計画の具体的展開が実施計画。個別計画において取り組みの方向性、方法を定める。

問 高齢者への肺炎球菌ワクチンの助成は

答 国の動向を見る



川村恵子議員
(公明党)

志村議員 ICT・BCP(情報通信技術部門における事業継続計画)の取り組みは。選挙運動でのインターネットの解禁に関わる本市の対応は。公告式のホームページでの公開を。24年度のホームページへのアクセス数とアクセス上位項目は。救命救急、苦情処理、市民アンケート等へのICTの活用・導入は。

答 新しい公共の手法

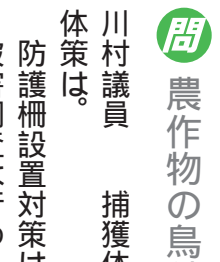
芦澤経営政策部長 地震対策、バックアップ、ネットワーク二重化等业务継続性の確保に努めている。チラシ等により周知する。総務省・県選管にリンクし、市のホームページでも情報提供する。個人の権利と利益に配慮した上で、公開することを考えている。アクセス数は167万件。ライブカメラや観光スポットへのアクセスが多い。環境づくりに取り組む。

川村恵子議員 全国800以上の自治体が公費助成を実施している。本市においても取り組みを求める。肺炎は高齢者の死因の上位を占めている。市の現状は。インフルエンザ・ワクチンと併せて接種し、重症化を防ぐ取り組みは。医療費の抑制効果も期待できる。市の認識は。

山下保健福祉部長 本市の60歳以上の死因の上位は、悪性新生物、心疾患、老衰、肺炎である。任意のため接種率は把握していない。定期接種になっている高齢者のインフルエンザ接種率は約60%。国は定期接種化の必要性を検討している。自治体の医療費削減効果は明確にされていないが、動向に注視して判断する。

問 農作物の鳥獣被害対策は

答 支援を強化する



川村議員 捕獲体制の確立など具

川村議員 捕獲体制の確立など具は。防護柵設置対策は。被害調査は行われているのか。今後、力を入れる対策は。

答 支援を強化する

風間産業観光部長 23年度の被害防止計画に基づき対策を講じている。各町を単位としたエリアで、猟友会を中心に、市で購入した檻などを貸し出し、今年度は、イノシシ80頭、シカ5頭を捕獲する予定。市内の防護柵の総延長は約100キロメートル。シカによる被害を防ぐため、かさ上げの必要がある。現在は、原材料を支給、地域住民の労働者で設置している。各支所の担当が、地区毎に鳥獣の種類、被害金額を調べている。電気柵の設置補助等は継続する。防護柵のかさ上げにも補助を検討したい。

問 笛吹ブランドの確立と販路拡大は

答 農業と観光の連携で実現



岩沢正敏議員 (笛新会)

岩沢正敏議員 市の農家が安定した生産を維持していくためには、笛吹産果樹がトップブランドとして通用する必要がある。

各町村の地域ブランドを、笛吹市全体のブランドとしてまとめ上げる方策は。

本年度のトップセールス事業の予定は。

J A以外への出荷者に対して、笛吹ブランドをどのように啓蒙するのか。市内で育成された品種の商標登録化の取り組みは。(笛吹エゴロなど) 市内直売所を活用した、都会の自治体等と交流の計画は。

風間産業観光部長 本市には石和の柿、一宮や御坂・春日居の桃、芦川のホウレンソウなど、先人の苦勞の積み重ねで確立した地域ブランドがある。農協、行政、市場が一体的

に協力し、販売促進、宣伝に努め「笛吹ブランド」を確立し、各地域の活性化・農業振興を図っていききたい。

J Aふえふきと6月に東京大田市場で、7月には大阪の市場と量販店で実施する。J Aフルーツ山梨・春日居支所は、7月に東京で消費拡大の宣伝を行う。

観光面では世界遺産登録を契機に、8月に北海道、10月には台湾でトップセールスを予定。

積極的な農業経営者には認定農業者になっていただいている。笛吹市産のアップルに努めてもらいたい。有用な品種は農協や県と相談し、商標登録を検討する。

市内には八代、境川、春日居、芦川の4つの直売所があり、全て指定管理者により運営されている。それぞれの直売所で、独自のイベントや販促活動を実施しているが、都市部との交流を希望する場合は支援を行い、笛吹ブランドの消費拡大に向け宣伝活動を行っていく。

問 果樹農家の「未来の設計図」を描くために

答 支援体制を強化する



北嶋恒男議員 (笛新会)

北嶋恒男議員 後継者対策の現状と今後の見通しは。

将来を見据えた就農意向調査の実施が必要だ。

担当部署を新規に設置する考えは。後継者育成のための態勢は。

初心者研修講座の休日開催を。県外からの農業体験者への簡易宿泊施設として観光ホテルとの提携は。

風間産業観光部長 新規就農農業後継者支援制度を県内で初めて設け、

延べ133人に支給。昨年からは新規就農者支援制度を開始。21年度からは援農支援システム構築事業で、

延べ1,168人が研修を受けた。今後は、定年帰農者支援や市外、県外からの受け入れを行いたい。

昨年11月に、全農家を対象にアンケートを実施、回収率約40%。

組織の細分化は業務の効率性から

適当でない。

今年度中に、J Aふえふきに営農支援センターと援農支援センターが同居し、窓口の一本化が図られる。受講者の希望をとり、検討する。農業と観光の連携は不可欠。

問 学校と地域の連携で人間教育を

北嶋議員 地域の産業を知るための体験学習の現状は。

地域行事への子ども参加が減っている。歴史・祭り・伝承など、地域について学習に取り入れるべきでは。障害者、高齢者とのふれあい体験が必要だ。

答 郷土を大切にすることが子育てる

坂本誠二郎教育長 コンニャクづくりや炭焼き体験、旅館やワイン工場見学、中学生は職場体験などを実施している。

石和温泉湧出、蛇笏・龍太の俳句等、地域の歴史や人物を学んでいる。多様なふれあいを重視している。

問 子どものインフルエンザ
予防接種への一部助成は

答 国の動向を見極め対応



中川秀哉議員
(公明党)

中川秀哉議員 15歳までの人数は、
子どもが2人以上の世帯数は、
季節型インフルエンザと新型イン
フルエンザの接種費用と回数。

合併後の年代別接種率は、
15歳以下の子どもが2人以上の世
帯への2分の1の公費助成を求める。
山下保健福祉部長 25年5月31日
現在、10、429人。
約3、300世帯。

費用は季節型、新型ともに2千円
から4千円位。

生後6カ月から13歳未満は2回、
13歳以上は1回または2回、高齢者
1回で、いずれも毎年の接種が必要。
予防接種には定期と任意があり、
年代別の接種率把握は困難。

国がワクチンの有効性の評価、検
討を行っている。動向を見極め対応
する。

問 リサイクルステーション
の設置は

中川議員 有価物報奨金の現状は、
高齢者世帯等に対する回収策は、
学校での有価物回収の学習機会は、
全市的な回収システムの構築は、
随時持ち込み可能なリサイクルス
テーションの設置は。

答 調査検討する

前田市民環境部長 行政区等への
資源回収報奨金は、22年度3、
108万円。23年度2、956万円。
24年度2、910万円。

所定の場所へ持ち出し困難な高齢
者等には支援策を用意してある。

小学校3年・4年の社会科で学ぶ。
市教委作成の副読本を活用し、甲府
市環境センターの見学も実施。

本市の回収システムは、自治会や
PTAの協力で効率的に機能。

衛生管理、不法持ち込みの防止な
ど課題も多いが、他の自治体の事例
などを参考にし、今後検討したい。

問 笛吹市消防委員会の設置は

答 条件が整った段階で設置したい



中村正彦議員
(誠和会)

中村正彦議員 合併後、消防委員
会を設置しなかった理由は、
消防行政に助言できる組織の存在
は。

消防車等の整備や消防団編成の進
捗状況は。

荻原総務部長 合併前からの慣習
や地域特性を踏襲しており、団員数
や部の数、規模、詰所施設や消防車
両など地域の差が大きかった。平準
化を先行したため、現在、消防委員
会は未設置。

年次計画で部の統合や車両の配備
を進めている。条件が整いしだい設
置したい。

重要案件は所管の常任委員会と協
議し対応している。

合併後整備した詰所は11棟、25台
の消防車を更新した。今年度も4棟
の建設と4台の更新を予定している。

団内部で新しい9つの統合がされ、
現在、7分団89部隊で組織されてい
る。今後も地域に適した消防団の組
織づくりを進めていく。

問 減災リーダーの育成は

中村議員 行政、消防団、地域の
連携は図れているのか。
市民への情報伝達の整備状況は。
防災訓練の見直しを考慮してい
るのか。

答 消防団OBが先導

荻原総務部長 連携は訓練だけで
なく、関係部署との協働で勉強会や
研修会を開くなど、地域防災へ活発
な取り組みを進めたい。

電話やインターネットの不通を想
定し、防災無線、消防団無線、孤立
集落は衛星電話や簡易無線機で情報
伝達する。指定避難所など79カ所に
Wi-Fiスポットを設置した。

地域と協議を重ね、実態に即した
訓練項目を検討する。

総務 常任委員会

6月21日、24日の2日間、委員会を開催。付託された給与の臨時特例に関する条例の制定2件、給与条例の一部改正1件、一般会計補正予算1件、契約の締結2件の計6件を審査し、賛成全員4件、賛成多数2件で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。主な質疑答弁は次のとおり。

総務部所管

Q 市長等の給与の臨時特例一般職給与の臨時特例の考え方や対応は。

A 国家公務員の給与と改定に準じ、自主的に9カ月間の給与を減額。交付税削減でサービスに影響が出ないよう、総合的に判断した。

Q 防犯カメラ設置の委託料が高くないか。

A 調査経費や設計コストは概算。早急な設置を行うための対応。

Q 本庁舎耐震改修の予定

価格と入札金額の開きは。また、最低制限価格は一定の率の範囲か。

A 3、839万円の開きで、労務単価が引き上げられたもの。低入札価格調査基準制度を参考。

Q 石和温泉駅周辺整備事業・施行協定契約締結の考え方は。

A 設置費は出すが維持管理費は出せない。JRで維持管理してほしい。乗降客の増加を検討し、JRと交渉する。



改修予定の石和温泉駅舎

経営政策部所管

Q 大きな事業が当初予算にない。補正する理由は。

A 事業量が明確になったり、継続費設定事業の一部前倒しや、設計時に見込めなかつた増額補正など。

市民環境部所管

Q 職員配置は増加したか。

A 証明発行担当を4月から新設、税証明全般を扱う臨時職員を1人増員した。

教育 厚生 常任委員会

6月21日、24日の2日間、委員会を開催。付託された条例の制定1件、条例の一部改正2件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算2件の計6件を審査し、賛成全員でいずれも原案のとおり可決すべきものと決した。主な質疑答弁は次のとおり。

Q インフルエンザ等対策本部条例設置の目的は。

保健福祉部所管

A 鳥インフルエンザの変異でヒトからヒトに感染し、国が緊急事態宣言発令の場合、市町村長は対策本部設置が義務付けられ、市長が対策本部長を努める。

Q 認定子ども園はどのような施設か、入園の条件は。

A 就学前の子どもに、幼児教育と保育の両方を提供する平成18年10月より開始された制度。

市民環境部所管

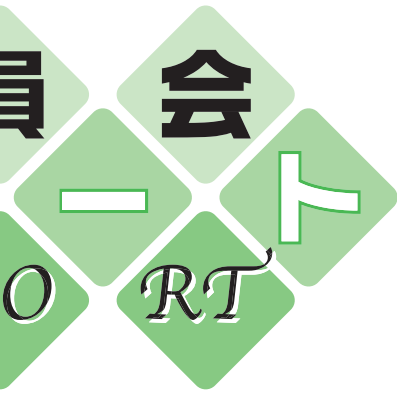
Q 境川寺尾地区関連整備事業は、市の役割が超過しすぎでないか。予算割合は。

A 環境推進課が中心で、関係各部で同じ認識を持ち同じ方向に進む。関連整備事業は公園緑地・温泉施設・道路・公民館などで、国の交付金事業などの採択を得て進める。事業予算関係は、山梨県市町村総合事務組合や甲府・峡東地域ゴミ処理施設事務組合等の事業費の中から執行される。

教育委員会所管

Q 中学校施設整備事業の春日居中学校・柔剣道場暑さ対策の改修工事は。

A 室温が50度近くに上がり、





室温対策改修が求められる春日居中学校柔剣道場

生徒の健康管理から早急に対応したい。屋根の内面に断熱材を吹き付け、輻射熱をさえぎる方法で約10度温度が下がる。(現地視察を行った)

Q 体育館の指定管理者が替わっているが、防除指導が足りないのではないか、桜の木のアメリカシロヒトリによる被害状況は。
A 指定管理者に対して指導を強化していく。

建設
経済
常任委員会

6月21日、26日の2日間

委員会を開催。付託された管理条例の制定1件、一般会計補正予算1件、水道事業会計補正予算1件、給湯事業会計補正予算1件、市道廃止1件、市道認定1件の計7件を審査し、賛成全員でいずれも原案のとおり可決すべきものと決した。主な質疑答弁は次のとおり。

産業観光部所管

Q 兜造り茅葺古民家「藤原邸」設置及び管理条例制定は、将来的に白川郷や根場のような集落群とする計画はあるのか。
A 希望はあるが現実的に難しい面もある。長期展望の中で地域と行政が一緒になって考えていきたい。

Q 優良農地等確保促進事業の農振・農用地システム構築の内容は。



兜造りの茅葺古民家「藤原邸」

A 税務課管理の土地情報を利用し、農地管理を行う。事務執行を正確に、かつ迅速に行うことができ、農振の見直しも短期間で行える。

建設部所管

Q 寺尾地域周辺整備事業の内容は。
A 一般廃棄物最終処分場等建設に伴う周辺整備事業のうち、事業全体の管理は環境推進課で行い、市道工事設計委託について建設部に予算計上したものを。

Q 砂原橋架け替え事業のバイオマスセンター事業凍結で、地権者から反対の声も聞かれるが、事業への影響は。
A 地権者の要望で、取り付け道路の形状を変更するが、工事は進めていく。

公営企業部所管

Q 下水道債償還元金の財源更生は。
A 資本費平準化債は、借入金返済のための借入金で少ないことが望ましいため、人件費の減額分を財源に充てたもの。

Q 温泉供給収益の増額補正は、収入増によるものか。
A 平成24年度決算で、収益が見込まれる分について増額したもの。

議会を傍聴してみませんか！

開かれた議会のひとつとして議会の傍聴があります。議員が市民の皆様を代表し、いかにして幸福で住み良い地域にしていくのか様々な質問をして議論を行います。

議会活動の、ほんの一部ではありますが、ぜひ、議会の傍聴へ足を運んでみてはいかがでしょうか。日頃と違った議員の一面がご覧いただけます。多くの皆様の傍聴を心よりお待ちしております。

平成25年 第3回定例会本会議の日程（予定）

日程等に変更がある場合もあります。

傍聴へはお気軽にお越しください。（傍聴人定員42名）

傍聴席へは先着順となります。

9月

- 4日（水） 午後1時30分～ 本会議（初日）行政報告・議案説明・決算審査ほか
- 6日（金） 午前10時～ 代表質問
- 9日（月） 午前10時～ 一般質問
- 10日（火） 午前10時～ 一般質問（予備日）
- 27日（金） 午後2時30分～ 本会議（最終日）委員会審査報告・採決ほか

代表質問とは、会派として市長（行政側）に対し質問を行うものです。

一般質問とは、一議員（個人）として、市長（行政側）に対し質問を行うものです。

正式記録ではありませんが、本会議終了後の概ね1ヶ月後、市ホームページ上で、本会議を編集したものを配信していますのでぜひご覧ください。

視察研修

建設経済常任委員会

市産果実・消費拡大宣伝

6月24日に早生種の桃の出荷に伴い、市産果実の消費拡大を図るため、トップセールスで市長、農林振興課職員、JA笛吹の組合長や役員、フルーツレディーらで東京都中央卸市場大田市場等において消費宣伝を実施しました。

大田市場では午前6時40分より市場関係者、仲卸、小売店を対象に「日川白鳳」の試食会を開催しました。今年の桃は糖度が高く、甘くて美味しいと大好評で、市産夏果実への期待の大きさが多く感じられました。

大井駅前の百貨店の特設イベント会場では、消費者に直接PRするため、先着100名様に無料で桃を配布し、「じゃんけん大会」で勝った方には桃ジャムをプレゼントしました。

市産果実はこれから秋まで続きますが、桃・ぶどう日本一の郷で、安全・安心で美味しい果物づくりに精進して、農作業に頑張ってもらいたいと思います。





笛吹市 議会だより

表紙写真を募集!



笛吹市議会では市民の皆様により親しまれる議会だより作成を目指し、表紙を飾る写真を募集します。あなたの撮ったカラー写真で、表紙を飾ってみませんか！ご応募お待ちしております。

応募要項（抜粋）

- 募集内容 笛吹市の「イベント」「自然」「伝統文化・芸能・行事」「街並み」など、本市の魅力を紹介でき、表紙にふさわしいものとします。（原則として一定の個人・団体等は除く）
- 応募規定 応募資格は、市内在住、勤務、在学にかかわらず、どなたでも可能です。撮影者自身に著作権のある未発表・未公開のオリジナル作品に限ります。被写体となった人物、建物の管理者などに、応募することの許可を必ず得てください。応募作品の著作権は、本市議会に帰属し原則返却いたしませんのでご了承ください。
- 応募方法 住所 氏名（フリガナ）掲載に際して匿名を希望する場合はペンネームを併記
電話番号 撮影場所・年月日 作品名 市外在住の方は当市とのかかわりを記載してください。 写真又はデジタルデータ（メモリーカード）を添えてご提出ください。（USBメモリー及びFD・CDでのお持込みはご遠慮ください）
- お問い合わせ先・送付先 〒406 8555 笛吹市八代町南917番地 笛吹市役所八代庁舎 笛吹市議会事務局
TEL：055(265)2112 FAX：055(265)1101 Eメール gikai-jimu@city.fuefuki.lg.jp

詳しくは、市ホームページをご覧ください。か議会事務局までお問い合わせください。
ホームページアドレス <http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/>

「笛吹市議会だより」表紙写真専用応募用紙

作品名			
ご氏名		応募年月日	平成 年 月 日
ご住所	〒	電話番号	()
市外の場合	笛吹市内在中 在勤 在学（いずれかの 内にレ点を記入） 勤務先・学校名（ ）		
コメント (30文字以内)			
撮影日時・場所	日 時 (年 月 日) 場 所 ()		
提出撮影データ (いずれかの 内にレ点を記入)	写真 (枚) デジタルデータ (電子メール)		



心のオアシス



春日居町（団体職員）
川口 直人

春が近づくと、心躍る気分になるのは物心ついたころから毎年のごとです。春日居町鎮目の山梨岡神社では、毎年4月4・5日に例大祭が執り行われ、4月には神輿の渡御が行われます。私も神輿に加わり区内を練り歩くのですが、この神輿、実に重いのです。一人でも担ぎ手が離れたものならば、途端に神輿のバランスは狂いだし、みな大騒ぎ。「そっこだい」の掛け声とともに、夜8時ころに神輿を神社にお運びし、クライマックスを迎えるのですが、その時には担ぎ手の心は一つ。達成感と疲労感で何とも言えない高揚感に包まれ終わりを迎えます。

時代はネット社会。情報量も時代を追うごとに加速度的に増え続け、社会はスピード重視。確かに面白いのですが、何か殺伐とした違和感で過ごしているのは事実です。

そんな折、山梨岡神社のお祭りでは、古来より大切に受け継がれる太々神楽の格調高い舞を観ることが出来ます。忙しい現代から、まるで数百年前にタイムスリップしたかのように、日本人として何か忘れ去られた事を思い出させてくれるような安堵感さえ与えてくれるのです。

今一度、歴史的な文化を体感してみてもいかがでしょうか。

農業から学ぶもの



春日居町（主婦）
田草川 睦美

深緑の葉の間から、薄紅色の桃の実が日差しを受けて輝いている。農道を軽トラが忙しく走り抜けて行く。目を畑に転じると、そこで働いている人々は「若者」と呼ばれている人は少ない。休日に農作業をしている青少年の姿を見つけたのは難しい。畑で幼子を遊ばせている姿も少なくなつた。果樹王国・桃源郷と呼ばれている市の将来を危ぶむ一面だ。

今、果樹農業の担い手となつていらっしゃる方々は、専業農家や兼業農家であつたり、農業の形はまちまちでも、少なからず親と一緒に農作業をしてきたと推察する。

その方々が親となつた今、子どもたちには自分と同じ道を歩かせたくはない、という思いから、または機械化された中では子どもの力を必要としなくなつた。クラブ活動が忙しいなどの理由で、畑から青少年の姿が消えたのではなからうか。まさに我が家もそのとおりである。両親から働くことを理屈抜きで強いられてきた私は、与える形で自分の子どもを育ててしまった。結果的には失敗であつた。

これからの果樹王国を発展させる一つの手段は、子どもを力に借りることである。親と一緒に働く中から、植物への関心・育てる事の楽しさ・人とのかわり方を学び、他者を認める姿が生まれると確信している。



4月10日に日本一の桃源郷宣言をした笛吹市は、4月22日にハウス桃の出荷を皮切りに、6月13日から生産量日本一の露地桃の出荷が本格化し、農家は収穫作業で猫の手も借りたいほどの忙しさとなつてきました。

今年の桃は開花が早く、4月の凍霜害で結実にはばらつきがあつたうえ、5月からの記録的な少雨、梅雨入り後も極端に少ない降水量のため、栽培農家では畑灌のフル回転や水路からの灌水作業に追われ、出荷まで例年になく手を掛けた桃の出荷となつていきます。

出荷主体のJAでは、少雨の影響で実は若干小ぶりだが、糖度が高く色付きは良いとのこと。7月19日は今年の二〇〇日目（百百日）。「やまなし桃の日」で桃が一番美味しく食べられるころです。いよいよ桃・ブドウの観光シーズンが始まり、笛吹市も国内外からのお客さまがきます。

富士山の世界文化遺産登録やアベノミクス効果にも期待し、笛吹市自慢の美味しい桃・ブドウを堪能していただき、笛吹市が元気で活気づくことを願っています。

（梶原 清）

INTOYO INTERFACE

笛吹市議会だより No.35

〒400-8555 山梨県笛吹市八代町南917
TEL.055-265-2112(直通)FAX.055-265-1101
URL: http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/

発行者： 笛吹市議会議長 前島 敏彦 / 編集： 笛吹市議会広報編集委員会
委員長： 荻野 謙一 副委員長： 岩沢 正敏
委員： 梶原 清 神宮司正人 古屋 始芳 神澤 敏美